

学校法人 コミュニケーションアート 大阪キャリアナリー製菓調理専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【平成30年6月1日実施】

平成29年度自己点検自己評価(平成29年4月1日～平成30年3月31日)による

学校関係者評価委員氏名【 】

大項目	点検・評価項目	自己評価		点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
1 教育理念・目的・育人人材像	1-1 理念・目的・育人人材像は定められているか	3	<p>学校法人コミュニケーションアート 大阪キャリアナリー製菓調理専門学校は、学校法人滋慶学園グループに属し、「職業人教育を通じて社会に貢献していく」ことをミッション(使命)としている。</p> <p>「3つの教育理念」(「実学教育」「人間教育」「国際教育」)を実践し、「4つの信頼」(①学生と保護者からの信頼、②高等学校からの信頼、③業界からの信頼、④地域からの信頼)を得られるように学校運営をしている。</p> <p>建学の理念に基づき、大阪キャリアナリー製菓調理専門学校は、『製菓調理を通して、人に喜びや感動を与えられる「即戦力(5つ星人材)」となる人材育成』を目的として学校運営をしている。</p> <p>現在、製菓・調理業界を取り巻く社会の環境は大きく変化している。職業の現場で求められる知識・技術の高度化や、より付加価値(コーディネート力、創造力、マネジメント力、おもてなしの力)の高い人材の必要性を背景に、本校では、『産学連携教育システム』により、様々な変化にも対応できる人材の育成を実現してきた。</p>	<p>「学校法人滋慶学園グループ」 昭和51年の創立以来、「職業人教育を通じて社会に貢献する」ことをミッションに掲げ、全国に専門学校・教育機関を設置し、業界で即戦力となる人材育成のため、建学時から変わらない「3つの教育理念」(実学教育、人間教育、国際教育)と「4つの信頼」(業界からの信頼、高校の先生からの信頼、学生・保護者からの信頼、地域からの信頼)を実践することで、理想の教育実現を目指す。医療・福祉・美容・調理・製菓・バイオ・スポーツ・クリエイティブ・エコ・音楽・ダンス等、多岐にわたる分野で北海道から福岡まで73校を有する。</p> <p>「実学教育」 スペシャリストが求められる時代に即し、業界に直結した専門学校として、即戦力となる知識技術を教授する。一人一人の個性を活かし、それぞれの業界で力が発揮できるように構築された『滋慶学園グループ独自の教育システム』。</p> <p>「人間教育」 開校以来、『今日も笑顔で挨拶を』を標語に掲げ、他人への思いやりの気持ちやコミュニケーション能力、リーダーシップがとれる対人スキル等を身につけ、同時にプロ・社会人としての身構え、心構え・気構えを養成する。</p> <p>「国際教育」 コミュニケーション言語としての英語を身につけるだけでなく、日本人としてのアイデンティティを確立した上で、広い視野でモノを捉える国際的感性を養う。</p>	<p>「3」・ 2 ・ 1</p>	<p>創立以来グループが掲げておられる「3つの教育理念」は、非常に優れたもの。特に「実学教育」は、時代のニーズ、社会の変化に対して、的確に対応されており、高く評価したい。</p> <p>社会人としての基本マナーから始まり、幅広い実践の場を用意して、体験・体感を持ってカリキュラムが企画実施されている事は、非常に素晴らしい事と高く評価致します。又、現状に止まらず、常に挑戦チャレンジしていく考え方に共感致します。</p> <p>貴校が掲げる、学校の理念、教育目標を拝見し、些かの疑念もなく教育理念の一つであります【地域からの信頼】に関わる部分でご協力、お役に立てればと考えております。「人間教育」での他人へのおもいやりの気持ちやコミュニケーションづくりは、町会のコンセプトでもあり、共有するところです。</p> <p>人材育成をする上で「笑顔で挨拶」はとても重要で、自然とコミュニケーションが出来、それを学べる場だと思います。</p>	
	1-2 学校の特徴は何か						
	1-3 学校の将来構想を抱いているか						
2 学校運営	2-4 運営方針は定められているか	2	<p>滋慶学園グループが計画する5ヶ年計画をうけ、各校は具体的に各年度事業計画書を作成し、その中で5年後の将来像等構想を描いている。</p> <p>諸環境の変化に対応できるように、事業計画については、滋慶学園グループが毎年、長期・中期・短期展望をし、事業計画を作成している。それを受けて、滋慶学園COMグループが短期事業計画を作成するが、そのもとになるのが、滋慶学園COMグループに属する各学校が作成する短期事業計画であり、毎年作成しているこの事業計画書が各学校における運営の核となるものである。</p> <p>事業計画は、法人常務理事会、法人理事会の決議を受け、承認を得ることになっている。</p> <p>それを受け、各学校では毎年12月に事業計画を全教職員へ周知徹底するための会議・研修も行っている。事業計画においては、グループ全体の方針や方向性、組織、各部署における目標や取り組み、職務分掌、各種会議及び研修等々についてが明確に示されている。</p> <p>運営組織は、事業計画の核をなす組織目的、運営方針、実行方針と実行計画に基づいたものである。単年度の運営も、中期計画の視点にたって行われる。事業計画書の組織図には学校に係わる人材が明記され、誰もが全員の組織上の位置づけを理解できるようになっている。</p> <p>学校がもっとも大切にしていることとして、滋慶学園グループの中期・短期の事業計画に沿って、採用と人材育成を行い、様々な研修において目標達成に向け、スタッフのスキル面とマインド面の向上を図り、また関わるすべての人が学校の方向性、学校の方針の実現に向けて同じ方向を向くために、各種研修や会議、ミーティングにより、コミュニケーションの重要性を確認している。</p>	<p>各学校における事業計画書は、広報・教務・就職と、学校におけるすべての部署について考えられ、また、すべての部署が同じ方針・考え方を理解し、徹底している。</p> <p>学校全体の運営、あるいは各部署の運営が正しく行われるために、様々な研修や会議が設けられ、この研修、会議を通じて、個人個人の目標設定及び業務への落とし込みを行い、また常に方向性、位置づけ等を確認できるシステムを構築している。</p>	<p>3 ・ (2) ・ 1</p>	<p>手堅い学校運営に信頼感がある。</p> <p>社会人としての基本マナーから始まり、幅広い実践の場を用意して、体験・体感を持ってカリキュラムが企画実施されている事は、非常に素晴らしい事と高く評価致します。又、現状に止まらず、常に挑戦チャレンジしていく考え方に共感致します。</p> <p>学校が同じ方針・考え方をしているから、生徒にとって学びやすいし、生徒を第一に考えてくれる先生が多いと思います。</p>	
	2-5 事業計画は定められているか						
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか						
	2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか						
	2-8 意思決定システムは確立されているか						
	2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか						

3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	2	<p>職業教育は常に業界と密接な関連を持たなければ、教育目標、育成人材像は正しく方向づけられないと考えており、業界の人材行動を常にキャッチし、その変化に対応して養成目的や教育目標の見直しを毎年実施している。</p> <p>本校は教育システムとして、独自の「産学協同教育システム」を構築しており、このシステムにより、業界と乖離することなく、業界で即戦力となりうる人材を育成、輩出できている。</p> <p>教育目標達成のためのカリキュラムは、入学前から卒業まで、体系的に編成されているが、教育部会等で研究、見直し等を行っている。カリキュラムは学科(コース)に関わるもののみならず、社会的・職業的自立を目指し、「キャリア教育」の視点に立ったものになっている。</p> <p>授業改善、教職員・講師の資質向上等を目的とし、FD研修や、授業アンケートを実施している。授業アンケートでは、講師や学生の状況を正確に把握し、総合的な判断を行い改善を図っている。</p> <p>成績評価・単位認定の基準を明確にし、学生指導を行っているが、明確な基準と共に、すべての学生が学科の目標を達成した上で、進級・卒業できる体制を作っていく。</p> <p>業界講師による授業が中心の為、業界の声を取り入れ、業界の変化に対応した教育を行うことに注力していく。</p> <p>調理師資格取得については、100%合格に向け、支援を行っている。</p>	<p>大阪キャリアナリーでは、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 退学率 0% (入学者の全員卒業) 2. 1年以内の離職率 0% 3. 就職後3年間は退職しない。 <p>「0・0・3」の方針を掲げ、その達成のために「5つ星教育システム」による教育を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① おもてなしの心、 ② 技術力、 ③ 創造力、 ④ コーディネート力、 ⑤ マネジメント力 <p>上記、5つの力をバランス良く身につけ、就職後の即戦力を目指す独自の教育プログラムである。</p> <p>また、上記を実践的に習得する為に、「学園祭」、「ONE DAY SHOP」などの販売イベントを定期的に行っている。</p> <p>「産学協同教育システム」の一環である「企業プロジェクト」では、業界からの商品開発課題に取り組み、商品化を目指している。</p> <p>プロのコンテストに出場を目指す「業界特別ゼミ」、在学中から開業について学ぶ「開業ゼミ」など、ゼミでのレベルアップを図っている。</p>	3・②・1	<p>人材の育成は誠に難しいが、貴校の「産学連携システム」の完成度は、かなり高い。また、業界のトップクラスを揃えた講師陣は魅力的である。あとは、看板倒れにならぬよう努め、学生たちが、しっかり技術とマインドを継承できる環境を、醸成していただきたい。</p> <p>卒業後の実践に役立つ内容のカリキュラムと「企業とのコラボレーション」など、多彩な取り組みは高く評価出来ます。</p> <p>働く上での最低限の技術・知識は学べるが、いざ現場で働いた時のギャップがあると思います。学校では楽しく物作りをしますが、現場ではお客様のために働くので、もう少し現場に近い厳しい環境で授業を行うのも良いかと思えます。</p>
	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか					
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか					
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか					
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか					
	3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか					
	3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか					
	3-16-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか					
	3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか					
3-18 資格取得の指導体制はあるか						
4 教育成果	4-19 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	2	<p>教育成果は目標達成の努力の結果であるが、本校では、就職希望者の全員就職、退学者0名を教育成果の最終目標に学校運営を行っている。</p> <p>就職では、開校以来、就職希望者の全員就職を達成しているが、専門就職率の向上も課題として取り組んでいる。</p> <p>退学率では、開校以来、様々な取り組みの努力を重ねた結果、全体退学率は低下しており、今後も学生個々の徹底したフォロー、カリキュラムの工夫、担任・副担任制度の強化、学生カウンセリングの強化等々を実施し、退学率0%達成に向け、努力を惜しむことはない。</p> <p>内定学生数については、現在順調にすすんでいる。特に飲食業界では、インバウンド需要による求人数の増加もあり、年々企業の採用活動が早期化している。その為、早い段階からの意識付けや就職対策授業を行い、早期の就職活動準備を進めている。</p> <p>また、退学者0名に向けては、夏休み後の面談を実施。後期スタートと同時に再度面談を行い、進路変更は細かく対応し、退学者0名達成を目指す。</p>	<p>教育成果の1つである就職は、年々、専門就職率が向上しているが、100%を達成すべく、努力を続けている。</p> <p>また、できるだけ多くの学生に夢をかなえて就職するよう、就職対象者率の向上も大きな課題である。</p> <p>学生が目標を達成できるように、保護者と三位一体となり、支援する体制作りを行っている。</p> <p>退学率では、転科・転専攻等の個別カウンセリングを強化し現状以上に体制を整え、1人でも退学者を出さない学校になるべく、努力している。今後は、最終目標である0%に向け、さらなる努力を重ねたい。</p>	3・②・1	<p>教育成果はイコール社会的信用として結実する。さらに高い目標を設定して学校の存在感をアピールしてほしい。</p> <p>少しでも学んでもらおうという先生の気持ちが伝わってきます。補講・補習で取り返せる事が多くあると思います。</p>
	4-20 資格取得率の向上が図られているか					
	4-21 退学率の低減が図られているか					
	4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか					

<p>5 学生支援</p>	<p>5-23 就職に関する体制は整備されているか</p> <p>5-24 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>5-29 保護者と適切に連携しているか</p> <p>5-30 卒業生への支援体制はあるか</p>	<p>3</p>	<p>本校では、学生が目標を達成できるように、物心両面の環境を整備していくことで支援に繋がると考える。</p> <p>しかし、支援はあくまでも支援である。例えば、健康の維持は学業目標達成には欠かせない事項であり、本校でも健康診断にとどまらず、多くの支援体制を築き上げているが、学生本人が健康管理についての自覚を持たない場合、支援は効果がない。それゆえ、学生支援はまず学生の自立的行動を促すことから始めている。</p> <p>学生支援には、①就職 ②学費 ③学生生活 ④健康 などの分野で行っているが、それぞれの分野で対応できる担当部署及び担当者を置いている。</p> <p>①就職については、専門部署であるキャリアセンターを設置し、担任との強い連携をとりながら、就職の相談、斡旋、面接他各種指導などの支援をしている。</p> <p>②学費については、相談窓口として事務局会計課を置き、提供できる学費面でのサービスをアドバイスするファイナンシャルアドバイザーにより支援している。</p> <p>③学生生活については、担任及び副担任制により行うが、それ以外にもSSC(スチューデント・サービス・センター)という悩みや相談を受ける専門部署を置き、支援している。</p> <p>④健康については、滋慶学園グループのクリニックである慶生会クリニック大阪が担当し、在学中の健康管理を支援している。</p> <p>また、学生の課外活動であるサークル・同好会について、学校が年間予算を計上し、担当者を配置して、支援し、学生満足度アップに貢献している。</p> <p>今後の課題としては学生一人ひとりをしっかり見ていく体制を強化することである。担任のみならず事務局スタッフ、教務事務、キャリアセンター、警備員さんなども含め全員でサポートするような体制をつくりあげることが課題と考える。</p> <p>総括にあげたものの中で改善すべきところは、就職の部分でもっと就職活動を積極的にしていけるよう、卒業生の話をもっと聞く環境を増やすことが必要と感じている。業界人としてまたは卒業生としての両面で話ができる先輩からのアドバイスを聞き、もっと積極的な就職活動につながると考える。</p> <p>また学生一人ひとりをしっかり見ていく体制を強化する為「個別カウンセリング活動」なども見直ししながら、実行していく必要がある。</p>	<p>①「就職」は学生が目標を達成し、業界で活躍するための最重要事項であり、本校では非常に力を入れており、キャリアセンターという専門部署を置き、専任のスタッフを配置している。キャリアセンターは、業界現場での実践研修である「業界研修」の指導から、個別相談、就職対策講座、就職支援イベント開催、就職斡旋等々、就職に関するあらゆる支援を行っている。また、求人情報等を学生が自宅のパソコンや携帯でも閲覧できる就職支援システム「サクセスナビ」、一斉メールなどシステムの構築をし、迅速な対応ができるように支援している。</p> <p>②事務局会計課に学費の分納等に関する相談窓口を設置し、ファイナンシャルアドバイザーによる支援を行っている。また、日本学生支援機構の奨学金を利用する学生が多いため、教務部に奨学金窓口を設置している。</p> <p>③即戦力の人材を育成するための施設・設備、機材等々を完備し、また業界ニーズとブレのないカリキュラムの構築、業界第一線で活躍する講師陣による授業など、オンリーワンを目指す学校として十二分な体制を確立している。</p>	<p>③ 2・1</p>	<p>常に学生の目線で取り組みをされている事は評価できると思います。</p> <p>授業以外でも自主練習が出来る環境が整っていて、ふり返ることが出来る。卒業後の独立への支援もあるので、個人的には、かなり期待します。</p> <p>貴校の授業料は、一般の私立四大比してかなり高い。もちろん、技術を習得させるためのコスト高であることは理解できる。しかし、授業料を工面できぬがゆえに、進学を断念している若者も少なくなくあろう。貴校独自の奨学金制度を整備し、優秀な人材確保に努めていただきたい。</p>
<p>6 教育環境</p>	<p>6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</p> <p>6-33 防災に対する体制は整備されているか</p>	<p>2</p>	<p>本校は、業界で即戦力となり得る人材育成を目的としており、そのための教育環境(施設・設備、機材等)の整備は重要であるが、完備されていると考える。</p> <p>2015年4月より現校舎での授業を開始、以降も教育環境の充実を図り、業界標準の最新設備を備え、即戦力としての技術を身に付ける環境が整備されている。</p> <p>学内の教育環境に留まらず、学外の環境(業界研修、海外実学研修)も十二分に整備することが必要であるが、キャリアセンター、教務部、国際部が一丸となって、その整備を行い、教育効果につなげている。</p> <p>防災訓練・避難訓練も計画的に実施しており、安全対策を日ごろから啓蒙している。</p>	<p>業界のニーズに応える「5つ星人材」の育成を目指す本校にとって、教育環境である施設・設備・機材等は非常に重要な要素であり、業界標準の最新・最良のものを整備している。</p> <p>また、業界団体が実施しているプロのコンテスト使用機種を揃え、更なるレベルアップを図っている。</p> <p>教育環境整備には、毎年、事業計画で購入・修繕・入れ替えを計画し、予算計上の上、計画通りに購入・更新等を行っている。</p>	<p>③ 2・1</p>	<p>きめ細やかなお取り組みを、評価するにやぶさかではない。</p> <p>学生の技術習得に必要な環境を、企業の意見や業者のノウハウを取り入れて、実現していらっしゃると思、います。</p> <p>教育環境は十分過ぎるほど整っていると思います。防災の体制も含めて。ただ、コンテストよりもっと基礎となる知識を重点的に学んだほうが良いと思います。</p>

<p>7 学生の募集と受け入れ</p>	<p>7-34 学生募集活動は、適正に行われているか</p> <p>7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか</p> <p>7-37 学納金は妥当なものとなっているか</p>	<p>2</p>	<p>本校は、大阪府専修学校各種学校連合会に加盟し、同会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容(AO 入学等も)を遵守している。また過大な広告を一切廃し、必要な場合は根拠数字を記載するなど、適切な学校募集ができるように配慮している。さらに、広告倫理委員会を設置し、広報活動の適切さをチェックしている。</p> <p>広報・告知に関しては、各種媒体、入学案内、説明会への参加やホームページ・SNSを活用して、学校告知を実施し、教育内容等を正しく知ってもらうように努めている。入学選考に関しては、出願受付及び選考日を学生募集要項に明示し、決められた日程に実施しているが、入学選考後は、「入学選考判定会議」により、合否を決定する。なお、本校における入学選考は、学生募集要項にも明示している通り、「面接選考」及び「書類選考」であるが、その基準となるのは、「目的意識」である。将来目指す業界への職業意識や具体的な目標がしっかりしているかを確認すると共に、その目的が本校より提供する教育プログラム及びカリキュラムにおいて実現可能かを確認するもので、入学試験という名称のもと、学科試験を行うものではない。学納金や預かり金、教材等の見直しを毎年行っており、学費及び諸経費の無駄な支出をチェックしている。保護者への授業料及び諸経費の提示についても、入学前の段階において、年間必要額を学生募集要項に明記し、基本的に期中で追加徴収を行わない。</p>	<p>学生募集については、早期の募集開始時期にも対応し、募集内容等々ルールを遵守し、また過大な広告を一切排除し、厳正な学生募集に配慮している。</p> <p>広報活動では「学校特色でもあり他校が実施できない現場のプロが指導」の点を強化している。</p> <p>本校は専門就職を果たしてもらうことを第一目標としているため、入学前に職業イメージがどれだけ明確になっているかが大切と考え、体験入学や説明会への複数回参加を促し、充分理解し、疑問を解消した上で出願してもらうことを心がけている。</p> <p>教育成果として、高い専門就職実績と卒業生の活躍の打ち出しを強化しており、学生募集上の効果はかなり高いと考えるが、それゆえ、過大な広告にならないよう、学内に広告倫理委員会を設置し、事務局長、広報スタッフ等が常にチェックしている。</p> <p>本校は、一般社団法人日本プライバシー認証機構「TRUSTe」の国際規定の認証を受けている。</p>	<p>3・②・1</p>	<p>入学選考において、透明性と公正感を正面に据えることは、とりもなおさずコンプライアンスに対する貴校の姿勢となる。社会の評価を不動にするためにもご尽力願いたい。</p> <p>入学する時のオープンキャンパスで、物作りの喜びを知るきっかけになると思います。有名なシェフに会えたり、自分の可能性を知るチャンスが多くあると思います。</p>
<p>8 財務</p>	<p>8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>8-40 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>8-41 財務情報公開の体制整備はできているか</p>	<p>2</p>	<p>財務は、学校運営に関して、重要な要素の1つである。その中で予算(収支計画)は学校運営に不可欠なものであって、その予算を正確かつ実現可能なものとして作成する必要がある。</p> <p>毎年、次年度事業計画を作成し、その事業計画の中に5ヶ年の収支予算を立てているが、次年度の収支予算はもちろんのこと、中長期的に予算を立てることによって、学校の財務基盤を安定させるための計画を事前に組んでおくのが目的である。</p> <p>5ヶ年の予算は、5ヶ年を見越した中長期的事業計画内で、新学科構想、設備支出等について計画し、将来の学生数、広報・就職計画を鑑みながら予測し、収支計画を作成するが、学校、学園本部、理事会・評議員会と複数の目でチェックするため、より現実に即した予算編成となっており、健全な学校運営ができていると考えている。</p> <p>会計監査は、法人及び学校の利害関係者に対して、法人等の正確かつ信頼できる情報を提供するために、第三者による監査人が法人とは独立し計算書類が適切かどうかを監査することを意味する。</p> <p>平成17年4月から私立学校法が改正され、学校法人の財務情報公開が義務づけられたが、これに迅速に取り組み、「財務情報公開規程」及び情報公開マニュアルを作成し、現在に至っているが、財務情報公開の体制は整っている。</p>	<p>予算を正確かつ実現可能なものにするための2つの要素がある。</p> <p>①正確かつ実現可能な予算の作成</p> <p>予算は短期的、中長期的の2種類がある。短期的は次期1期間のもの、中長期的は2～5年間のものである。当学校法人及び学校では、短期的と中長期的の両方を事業計画書として作成し、短期的視野と中長期的視野の2つの観点から予算編成している。短期的な予算編成は当年度の実績を基礎に次年度に予定している業務計画を加味して行われる。中長期的な予算編成は主として大規模な計画を視野に入れた上で、業界の情勢を読み取りながら行われる。正確かつ実現可能な予算作成のためには、一旦作成した予算が現実のものとならぬ場合はそれを修正する必要がある。そのために短期的な予算においては期中に「修正予算」を組み、中長期的な予算においては毎年編成しなおすことにしている。これにより、短期的にも中長期的にも正確かつ実現可能な予算編成を組むことができる。</p> <p>②①のための体制作り①のように実現可能な予算作成するためには、その体制作りが必要になる。事業計画・予算は学校責任者を中心に作成し、理事会・評議員会が承認する体制を整えている。さらに、予算に基づいて学校運営がなされているかどうかは四半期ごとに予算実績対比を出し、学校責任者が予算と実績が乖離しているようであれば修正予算を編成し、理事会・評議員会の承認を得る。作成した決算書、事業報告書については、情報公開の対象となり、利害関係者の閲覧に供することとなる。</p>	<p>3・②・1</p>	<p>軽々に評価を云々できるほど、詳細をチェックしたわけではないが、決算書や事業報告書を目通しすれば、何ら不安は感じない。</p>

9 法令等の遵守	9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	2	法令を遵守するという考えは、滋慶学園グループ全体の方針として掲げ、各校の教職員全員でその方針を理解し、実行に努めている。法人理事会のもとに、コンプライアンス委員会で学校運営が適切かどうかを判断している。現状では、学校運営(学科運営)が適切かどうかは次ぎの各調査等においてチェックできるようにしている。 ①学校法人調査 ②自己点検・自己評価 ③学校基礎調査④専修学校各種学校調査 等である。 組織体制強化やシステム構築にも努め、次のようなものがある。 (A)組織体制 ①財務情報公開体制(学校法人) ②個人情報管理体制(滋慶学園グループ) ③広告倫理委員会(滋慶学園グループ) ④進路変更委員会(滋慶学園グループ) (B)システム(管理システム) ①個人情報管理システム(滋慶学園グループ) ②建物安全管理システム(滋慶学園グループ) ③防災管理士システム(滋慶学園グループ) ④部品購入棚卸システム(滋慶学園グループ) ⑤コンピュータ管理システム(COMグループ) 滋慶学園グループ、滋慶学園COMグループと全体というスケールメリットを活かし、各委員会、体制、システムにより、各校が常に健全な学校(学科)運営ができるようにしている。 法令や設置基準の遵守に対する方針は明文化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは完全に整備できている。	すべての法令を遵守するとともに、社会規範を尊重し、高い倫理観に基づき、社会人としての良識に従い、行動することが私たちの重要な社会的使命と認識し、実践する。 方針実行のため、学内にコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンスを確実に実践・推進に当たらせることにした。 委員長は、統括責任者としての学校の役員が就任する。委員は学校の現場責任者である事務局長と実務責任者の教務部長で構成される。 主な任務は、行動規範・コンプライアンス規程の作成、コンプライアンスに関する教育・研修の実施、コンプライアンス抵触事案への対応及び再発の防止対策の検討・実施、コンプライアンスの周知徹底のためのPR、啓蒙文書等の作成・配布である。	3・②・1	貴校のみならず、グループ全体でのお取組に安定感がある。とはいえ、昨今、企業や職域でのパワハラ、セクハラなどに対する社会の目は厳しく、対応を誤ると致命的なイメージダウンにつながる。これまでもお取組を積極的に推進していただき、事あるごとに実績をアピールすべきだと思う。
	9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか					
	9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか					
	9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか					
10 社会貢献	10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	2	本校には、「3つの教育理念」(「実学教育」「人間教育」「国際教育」)を実践し、「4つの信頼」(①学生と保護者からの信頼、②高等学校からの信頼、③業界からの信頼、④地域からの信頼)を得られるように学校運営をしている。 この「4つの信頼」の獲得を目指すことが社会貢献に繋がると考えている。例えば、業界企業や団体、あるいは中学校・高等学校等の教育機関とタイアップして行う、出張授業支援やクラブ活動支援、また、スタッフが高校へ出向いて行う特別講義等では、「高校の先生の信頼」に繋がっている。 滋慶学園グループが推進する「地球温暖化防止対策」運動で行っている、節電、冷房温度28度設定、階段利用(2アップ3ダウン)や、イベント等におけるゴミ削減、資源有効利用等々は、学生本人のみならず、来校された保護者の方々からも高い評価を頂戴し、「学生・保護者の信頼」に繋がっている。 特別なことをするわけではなく、滋慶学園グループが掲げる「4つの信頼」の獲得を目指すことが、すなわち社会貢献を果たすことに繋がっていると考えている。	本校では、教職員及び学生たちが、常に社会貢献を意識した活動を行っている。 一例として、社会福祉法人日本ライトハウスのバザー出店などは長年行っている。 そういった活動が、「業界の信頼」、「地域の信頼」、「高校の先生の信頼」、「学生・保護者の信頼」という、滋慶学園グループの「4つの信頼」獲得に繋がりがり、その結果が社会貢献を果たすことに繋がっている。 今後は、学校の施設や教育ノウハウ等を更に活かし、多様な社会貢献へ発展させていく考えである。	3・②・1	実学教育や人間教育の成果は、即、社会貢献のバロメーターとなる。特に、社会的弱者に対する支援は、活動に参加した学生たちの意識改革、人格形成に大きな影響力を及ぼす。高い識見を備えた職業人を輩出するため、学生に対する貴校のさらなるバックアップに期待したい。 心配される不意の災害時(津波)には、町内会で唯一高い建物でもあります貴校を開放して頂けないのか、また学生さんが点てられたコーヒー(有料)で会員の憩いの場(短時間)として、利用させて頂けないのか。
	10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか					